令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	一般社団法人行徳スワローアカデミアクラブ
事業細目名①	総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化
事業名①	行徳スワローアカデミアクラブ活動基盤強化事業
助成金額①	1,712,000 円
事業細目名②	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置
事業名②	一般社団法人行徳スワローアカデミアクラブクラブマネージャー設置事業
助成金額②	1,555,000 円

■調査内容

令和６年度総合型地域スポーツクラブ活動助成で、活動基盤強化事業・クラブマネジャー設置事業を行っている一般社団法人行徳スワローアカデミアクラブの調査を実施しました。

行徳スワローアカデミアクラブは千葉県市川市で約 ５０年の歴史がある株式会社行徳スワロー体育クラブを母体とするクラブで、令和５年度より総合型スポーツクラブとして活動しています。現在は会員数約 350 名でサッカー・フットサル、スポーツ鬼ごっこ、体育、ヨガ、バスケ、バドミントン、水泳の活動を行っています。

調査当日は体育教室を見学しました。当日の見学を行った時間帯は小学校低学年約 15 名を対象とした教室を行われており、指導者の合図のもと、子どもがグループごとに分かれて、マット運動や跳び箱、ボルダリングなどの活動を参加者全員楽しそうに行っておりました。

クラブの課題としては、長年使用している体操用のマット、跳び箱、ロイター板等の器具や教室を行っている施設自体の老朽化が挙げられます。その他総合型クラブの課題としては、現在会員が少ない高校生や高齢者の会員の取り込みを今後どのように実施していくかということ、さらに指導、会計担当等のクラブ運営に関する後継者の育成などが挙げられていました。

■助成の意義

くじ助成を受けることで、活動種目における新しいスポーツ用具の購入をすることにより満足度の向上や会員数の増加に繋がっているようです。また、クラブマネジャーへの賃金が助成対象となったことにより、当該経費分を老朽化したクラブ施設等の補修費用に充当することが可能になるなど、円滑なスポーツ教室の運営が行えるようになったとのことです。

また、令和２年度にマイクロバスの助成を受けたことにより、会員の送迎で大変助かっており、活動範囲が広がることで更なる会員数拡大にも繋がっているそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

クラブとして現在取り組んでいることとしては、近隣の総合型クラブやスポーツ少年団とのフットベースや野球などのイベントの開催や、自主事業として水泳の活動イベントも計画しているようです。また、市川市とはクラブの活動規模拡大のために、公共施設借用の優遇措置や中学校

の運動部活動の地域移行に関して連携、相談等を行っているそうです。さらに今後はクラブの安定的な収入源及び活動場所の確保のために、指定管理業務の受託を目指しているとのことでした。

■その他

クラブは、地域に根差した総合型クラブとして、会員の確保や拡大のために、SNS 及び HP の活用、並びに各種競技のチラシや総合型クラブ独自のカタログの作成を用いて教室ごとに細やかな情報発信しています。また、クラブを卒業した OB 会員にもこれらの情報発信を通じて教室への参加を促進しているとのことです。

その他にもクラブの長い歴史を配慮した行動を心掛けるとともに、自治会へ加入して、夏祭りや年末警戒への協力等により、地域での活動を行うことでクラブ近隣からの信頼を得ているようです。

■所感

今回調査した行徳スワローアカデミアクラブは地域密着を掲げながら、幼児から小学生を中心に活動を行っておりました。特に今回調査した体育教室では、難しい技術を教えるのではなく、身体を動かすことに親しむためのプログラムが提供されることで、子どもたちものびのびと動いているように感じました。またクラブハウスに併設されている活動場所は、長年地域に定着したクラブということでアットホームな雰囲気がある場所という印象を受けました。

今後も子どもたちの体力向上の場と楽しめる場として活動を継続していただき、多世代、多志向の活動を目指し、引き続き地域密着をしながら拠点の活動を拡大して発展していくことを期待しています。

（令和６年８月２７日往査）

（写真）体育教室の様子	
	